

地域包括ケア推進のための

第6回 多職種勉強会

平成 29 年 2 月 24 日

テーマ

誤嚥性肺炎をくい返す高齢者への支援

松阪市では、介護と医療に関わる様々な職種の方たちが顔の見える関係を深め、地域包括ケアを推進していこうと、平成 26 年より勉強会を開催しています。

6回目となった今回は、花の丘病院 リハビリテーション科の木村圭佑さんに、事例提供、勉強会の進行をしていただき、テーマについて検討しました。そして、初めて“ジグソー法”というグループワークの方法を用いました。勉強会の様子をご紹介します。

進行

木村圭佑さん



MSW の仕事がよく
わかりました。
もっと、多職種間で
連携がとれる機会
があればいいな…



退院時の情報提供・
連携は、早いほうがいいですね。退院は(病
状、退院後の生活など
に対する)家族の理
解が必要ですよね…



「どのような支援があれば、安心して在宅ケアをすすめられるのか」20グループにわかれて、話し合いました。(会場がいっぱいですね)



活発な意見交換で、時間が足りない!!



会場準備等、済生会松阪総合病院のみなさまのご厚意により、無事に開催することができました。ありがとうございました!



在宅と急性期、どちらの立場の考えも知ることができました。これからの連携に向けて、大変参考になりました。

★松阪地域の「地域包括ケア」推進のため、これからもご理解・ご協力をお願いします。
事務局：松阪市健康ほけん部高齢者支援課
☎ 53-4099